

# 鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 27

## 平成22年度発掘調査報告

(第1分冊)

積善遺跡

東勝寺跡

浄妙寺旧境内遺跡

下馬周辺遺跡

佐助ヶ谷遺跡

平成23年3月

鎌倉市教育委員会





東勝寺跡 II区第2面全景(北から)



浄妙寺旧境内遺跡 2b面全景(東から)



## ご あ い さ つ

近年、鎌倉の街では古い家屋や店舗の建て替えが相次いでいます。その中で、埋蔵文化財に影響のある工事も多くなっています。このため、個人専用住宅等の建設に際しては、昭和 59 年度から国・県の補助を受けて鎌倉市教育委員会が調査主体となって発掘調査の実施にあたってまいりました。

先人の遺産である文化財を守ることは、現在に生きる我々の責務であり、市内のおよそ 6 割の地域が埋蔵文化財包蔵地となっている本市の場合、特に市民の皆様のご理解とご協力なくしては、埋蔵文化財の保存や発掘調査の実施が困難であることは言うまでもありません。

本書は平成 16、17 及び 18 年度に国・県の補助を受けて鎌倉市教育委員会が実施した個人専用住宅等の建築に伴う発掘調査の記録として 8 ヶ所の調査成果を掲載しています。特に大倉幕府跡（地点⑧）では、掘立柱建物跡や石列、溝跡などの土地利用痕跡が数多く出土しました。湧水も多い場所でしたが、そのおかげで形代や漆盆等、当時用いていた木製品の数々が腐ることなく残されており、当時の生活を知る上で重要な成果を得ることができました。

調査の実施にあたり埋蔵文化財に対する深い御理解をいただくとともに、調査の期間中、物心両面にわたり多大なご協力をいただきました事業者・工事関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。

平成 23 年 3 月 31 日

鎌倉市教育委員会

## 例 言

- 1 本書は平成 22 年度の国庫補助事業埋蔵文化財緊急調査に係る発掘調査報告書（第 1 分冊及び第 2 分冊）である。
- 2 本書所収の調査地点及び所収分冊は別表・別図のとおりである。
- 3 現地調査及び出土資料の整理は、鎌倉市教育委員会文化財課が実施した。
- 4 出土遺物及び調査に関する図面及び写真等は、鎌倉市教育委員会文化財課が保管している。
- 5 各調査の成果は、それぞれの報告を参照されたい。

# 総目次

(第1分冊)

ごあいさつ	I
例言	II
目次	III
本誌掲載の平成16・17・18年度発掘調査地点一覧	V
平成22年度調査の概観	VI
調査地点位置図	X

## 1 積善遺跡 (No. 440) 十二所字ニツ橋4番3地点

第1章 遺跡の位置と歴史的環境	5
第2章 調査の概要	8
第3章 検出遺構と出土遺物	10
第4章 まとめ	21

## 2 東勝寺跡 (No. 246) 小町三丁目538番8、538番3地点

第1章 遺跡の位置と歴史的環境	42
第2章 調査の概要	47
第3章 検出遺構と出土遺物	49
第4章 まとめ	78

## 3 浄妙寺旧境内遺跡 (No. 408) 浄明寺三丁目122番1外地点

第1章 遺跡と調査地点の概要	117
第2章 調査の概要	125
第3章 調査結果	127
第4章 まとめと考察	171

## 4 下馬周辺遺跡 (No. 200) 大町二丁目1001番4地点

第1章 遺跡と調査地点の概観	194
第2章 調査の概略	201
第3章 調査結果	202
第4章 まとめと考察	217

## 5 佐助ヶ谷遺跡 (No. 203) 佐助一丁目 4 9 6 番 4 地点

第 1 章 遺跡の立地と環境	232
第 2 章 調査の概要	234
第 3 章 検出された遺構と遺物	236
第 4 章 まとめ	238

## (第 2 分冊)

例言	II
目次	III

## 6 大倉幕府跡 (No. 253) 雪ノ下三丁目 7 0 4 番 3 外地点

第 1 章 調査地点の位置と歴史的環境	6
第 2 章 調査の経過と層序	8
第 3 章 発見した遺構と遺物	13
第 4 章 まとめ	78
附 編 花粉分析	100

## 7 北条時房・顕時邸跡 (No. 278) 雪ノ下一丁目 2 6 9 番 1 地点

第 1 章 調査概観	125
第 2 章 検出された遺構と出土遺物	129
第 3 章 まとめ	165

## 8 大倉幕府跡 (No. 253) 雪ノ下三丁目 6 3 7 番 4 地点

第 1 章 遺跡の位置と歴史的環境	209
第 2 章 調査の概要	211
第 3 章 検出遺構と出土遺物	214
第 4 章 まとめ	243



## 本誌掲載の平成16・17・18年度発掘調査地点一覧

### 第1分冊

	遺 跡 名	所 在 地	調 査 原 因	遺跡種別	調査面積	調 査 期 間
① ★	積善遺跡 (N0,440)	十二所字二ツ橋4番3	個人専用住宅 (杭基礎構造)	都 市	34㎡	平成16年4月23日 ～平成16年5月20日
② ★	東勝寺跡 (N0,246)	小町三丁目538番8	個人専用住宅 (杭基礎構造)	社 寺	42.84㎡	平成16年7月30日 ～平成16年9月3日
		小町三丁目538番3	個人専用住宅 (地盤の柱状改良)		64.5㎡	平成16年8月18日 ～平成16年10月25日
③ ★	浄妙寺旧境内遺跡 (N0,408)	浄明寺三丁目122番1外	個人専用住宅 (杭基礎構造)	社 寺	49.49㎡	平成16年8月18日 ～平成16年10月22日
④ ★	下馬周辺遺跡 (N0,200)	大町二丁目1001番4	個人専用住宅 (杭基礎構造)	都 市	46.5㎡	平成17年2月3日 ～平成17年2月28日
⑤ ◎	佐助ヶ谷遺跡 (N0,203)	佐助一丁目496番4	個人専用住宅 (地盤の柱状改良)	都 市	44㎡	平成17年10月4日 ～平成17年10月27日

### 第2分冊

	遺 跡 名	所 在 地	調 査 原 因	遺跡種別	調査面積	調 査 期 間
⑥ ◎	大倉幕府跡 (N0,253)	雪ノ下三丁目704番3外	個人専用住宅 (杭基礎構造)	官 衙	56㎡	平成17年10月25日 ～平成18年1月27日
⑦ ▲	北条時房・顕時邸跡 (N0,278)	雪ノ下一丁目269番1の一部	自己用店舗併用住宅 (杭基礎構造)	都 市	35㎡	平成18年4月4日 ～平成18年6月13日
⑧ ▲	大倉幕府跡 (N0,253)	雪ノ下三丁目637番4	個人専用住宅 (地盤の柱状改良)	官 衙	68㎡	平成18年11月21日 ～平成19年1月19日

★印は平成16年度実施の発掘調査

◎印は平成17年度実施の発掘調査

▲印は平成18年度実施の発掘調査

## 平成22年度調査の概観

平成22年度の緊急調査実施件数は、前年度からの継続調査3件を含む14件であり、調査面積は746㎡であった。これを前年度の20件、808.25㎡と比較してみると件数は6件の減少となり、調査面積も62.25㎡の減少となった。しかし調査面積は平均で1件あたり53.29㎡（前年度は40.41㎡）であり、1件あたりの面積は前年度より増加している。

調査原因は個人専用住宅の建設が11件、店舗併用住宅の建設が3件である。これらの工種別内訳は、鋼管杭打ち工事が9件（64%）、地盤改良工事が5件（36%）となっている。今年度も鋼管杭打ち工事や地盤改良工事が発掘調査の主體的な原因になっている傾向が顕著にみられた。以下、各地点の調査成果の概要を紹介する。（調査面積及び調査期間等については「平成22年度調査地点一覧」を参照。）

### 1 安国寺跡 (No. 174)

山ノ内字東管領屋敷に位置する。主要地方道横浜鎌倉線の北側に面する場所にある。鋼管杭工事を行う個人住宅の建築に伴い、発掘調査を実施した。

調査地の地盤面は現況道路面から約1mほど高いが、約30cmの深さから遺構・遺物が検出できる。13世紀後半から15世紀にかけての遺構・遺物が出土した。泥岩塊積みの溝や、僧侶名の刻まれた硯などが出土した。

### 2 北条小町邸跡 (No. 262)

雪ノ下一丁目に位置する。若宮大路から若干東側へ離れた場所にある。地盤の柱状改良を行う個人住宅の建築に伴い、発掘調査を実施した。調査の結果、遺物は12世紀末と14世紀代の製品が出土し、土坑や柱穴などの生活痕跡が検出された。

### 3 法泉寺跡 (No. 182)

扇ガ谷四丁目に位置する。海蔵寺の存する谷戸内にあり、鋼管杭工事を行う個人住宅の建築に伴い、発掘調査を実施した。調査の結果、14世紀代の遺構として鎌倉石の切石を積んで造られた幅2mの溝が出土している。調査区南側を東西に走る現況道路にほぼ並行しており、当時の土地利用状況を復元するうえで重要な資料となった。

### 4 甘縄神社遺跡群 (No. 177)

長谷一丁目に位置する。県道鎌倉・葉山線の北側にあり、地盤の柱状改良工事を内容とする個人専用住宅の建築にともなって発掘調査を実施した。調査の結果、13世紀から14世紀にかけての泥岩による整地層を確認し、その上面で柱穴など建物の痕跡を検出した。

## 5 名越ヶ谷遺跡 (No. 231)

大町六丁目に位置する。名越ヶ谷と呼ばれる大規模な谷戸の中にあり、北側は谷戸の中央を通る道路と逆川に面している。敷地は道路より2mほど高まっている。鋼管杭の設置による基礎工事を内容とする個人専用住宅の建築にともない発掘調査を実施した。

調査の結果、地表下50cmから中世の遺構・遺物が出土している。泥岩による整地層が数層にわたって存在し、礎板や礎石を用いた建物の痕跡が検出されている。13世紀における谷戸内の土地利用を知る上で重要な事例の追加となった。

## 6 若宮大路周辺遺跡群 (No. 242)

小町一丁目に位置し、若宮大路から鎌倉郵便局の南側を抜けて小町大路に出る通りに面している。鋼管杭の設置による基礎工事を内容とする個人専用住宅の建築にともない、発掘調査を実施した。

調査の結果、小町大路と並行して南北に走る溝や、方形竪穴建物跡などを確認した。溝は杭などの護岸工事の跡が見られる。小町大路側溝の可能性もあり、貴重な発見である。

## 7 公方屋敷跡 (No. 268)

浄明寺四丁目に位置し、県道神奈川鎌倉線の北側丘陵裾に近接している。地盤の柱状改良工事を内容とする個人専用住宅の建築にともない、発掘調査を実施した。

調査の結果、中世は13世紀から14世紀にかけての砂岩小塊を利用した整地層が確認でき、上面には柱穴などの痕跡が存在していた。さらに下層からは古代の土器片を含む溝が出土している。

## 8 川越重頼邸跡 (No. 270)

浄明寺五丁目に位置する。滑川南岸に向かって開口する谷戸の入り口にあり、北側は道路に面している。地盤の表層改良を内容とする個人専用住宅の建築にともない、発掘調査を実施した。

調査の結果、砂岩小塊を用いた整地層と、柱穴などの建物跡、14世紀代のかわらけ溜などが出土した。

## 9 若宮大路周辺遺跡群 (No. 242)

大町一丁目に位置する。県道鎌倉・葉山線の北側にあり、下馬交差点付近の横須賀線高架に平行する道路に近接した調査区である。地盤の柱状改良工事を内容とする店舗併用住宅の建築にともない、発掘調査を実施した。

調査の結果、敷地を南北に貫く泥岩でつき固めた道路遺構が検出されたほか、方形竪穴建物跡が数基確認された。中世の土地区画を復元するうえで重要な発見であった。

## 10 建長寺旧境内遺跡 (No. 397)

山ノ内字白黒小路に位置する。主要地方道横浜鎌倉線の南側にあり、ちょうど明月谷の開口部に面している。敷地の西側にはやぐらのある岩の壁が迫り、そのさらに西側を横須賀線の線路が通る。鋼管杭の設置による基礎工事を内容とする個人専用住宅の建築にともなって発掘調査を実施した。

調査の結果、岩盤を削平して造った平場や柱穴、泥岩による整地層と掘立柱建物跡や、南北方

向の道路状遺構を確認した。丁寧に作られた土製の花器や火鉢、硯等が出土し、谷戸の造成と寺院境内地としての土地利用のあり方を知る上で重要な成果を得た。

## 11 田楽辻子周辺遺跡 (No. 33)

浄明寺一丁目の犬懸谷開口部に位置する。杉本観音向かい側の滑川が大きく南へ湾曲する箇所南岸に面している。鋼管杭の設置による基礎工事を内容とする個人専用住宅の建築にともなって発掘調査を実施した。

調査の結果、14世紀の土地利用痕跡は希薄ながら、13世紀代と15世紀代の遺構・遺物を検出した。調査区西側では、玉砂利を敷き詰めた池もしくは庭が出土した。当時の居住者の性格を知る上で貴重な遺構である。

## 12 長谷小路周辺遺跡 (No. 236)

由比ガ浜三丁目に位置する。江ノ島電鉄由比ガ浜駅の北側、県道鎌倉葉山線の南に面する敷地である。鋼管杭の設置による基礎工事を内容とする店舗併用住宅の建築にともない、発掘調査を実施した。

調査の結果、方形竪穴建物跡や土坑、古代の掘立柱建物跡、火葬骨埋納遺骨などが出土した。

## 13 桑ヶ谷療病院跡 (No. 294)

長谷三丁目に位置する。長谷寺の北側に存在する谷戸の中ほどに立地する。宅地の地盤面は谷戸中央を通る道路よりも1.5mほど上にあるが、遺構は道路より50cmほど上で確認される。地盤の表層改良工事を行う個人住宅の建築に伴い、発掘調査を実施した。

調査の結果、泥岩による整地層が数層、土留めの痕跡等が確認でき、整地層上面では建物跡など生活痕跡を確認した。

## 14 極楽寺旧境内遺跡 (No. 291)

極楽寺四丁目に位置する。極楽寺の北西に存在する谷戸の中ほどに立地する。鋼管杭の設置による基礎工事を内容とする個人住宅の建築に伴い、発掘調査を実施した。

## 平成22年度発掘調査地点一覧

	遺跡名	所在地	調査原因	遺跡種別	調査面積	調査期間
1 ★	安国寺跡 (No. 174)	山ノ内字東管領屋敷147番9外	個人専用住宅 (鋼管杭構造)	社 寺	46.00	平成22年2月12日 ～平成22年5月7日
2 ★	法泉寺跡 (No. 182)	扇ガ谷四丁目518番8	個人専用住宅 (鋼管杭構造)	社 寺	38.00	平成22年3月26日 ～平成22年6月8日
3 ★	北条小町邸跡 (No. 262)	雪ノ下一丁目421番1	個人専用住宅 (地盤の柱状改良)	城 館	27.00	平成22年3月29日 ～平成22年5月21日
4	甘縄神社遺跡群 (No. 177)	長谷一丁目262番14外	個人専用住宅 (地盤の柱状改良)	都 市	36.00	平成22年4月23日 ～平成22年6月11日
5	名越ヶ谷遺跡 (No. 231)	大町六丁目1708番23外	個人専用住宅 (鋼管杭構造)	都 市	21.00	平成22年5月14日 平成22年6月30日
6	若宮大路周辺遺跡群 (No. 242)	小町一丁目333番15	個人専用住宅 (鋼管杭構造)	都 市	25.00	平成22年6月9日 平成22年7月23日
7	公方屋敷跡 (No.268)	浄明寺四丁目297番12外	個人専用住宅 (地盤の柱状改良)	城 館	48.00	平成22年6月8日 平成22年8月20日
8	川越重頼邸跡 (No. 270)	浄明寺五丁目423番1外	個人専用住宅 (地盤の表層改良)	城 館	45.00	平成22年7月1日 平成22年8月26日
9	若宮大路周辺遺跡群 (No. 242)	大町一丁目1034番9	店舗併用住宅 (地盤の柱状改良)	都 市	66.00	平成22年8月18日 平成22年11月5日
10	鎌倉城 (No.87)	山ノ内字白黒小路1479番6	個人専用住宅 (鋼管杭構造)	城 館	96.00	平成22年9月15日 平成23年1月7日
11	田楽辻子周辺遺跡 (No.33)	浄明寺一丁目691番4	個人専用住宅 (鋼管杭構造)	都 市	54.00	平成22年10月18日 平成22年12月24日
12	長谷小路周辺遺跡 (No.236)	由比ガ浜三丁目204番5	店舗併用住宅 (鋼管杭構造)	都 市	72.00	平成23年1月14日 平成23年3月31日
13 ◎	桑ヶ谷療病院跡 (No.294)	長谷三丁目630番1	店舗併用住宅 (鋼管杭構造)	病院跡 遺物散布地	107.00	平成23年1月28日 平成23年3月31日
14 ◎	極楽寺旧境内遺跡 (No.291)	極楽寺四丁目923番2の一部	個人専用住宅 (鋼管杭構造)	社 寺	65.00	平成23年1月31日 平成23年3月31日

★印は平成21年度からの継続調査を示す。

◎印は平成23年度への継続調査を示す。

# 鎌倉市全図

平成22年度の緊急発掘調査地点 (1~14)  
本書掲載の平成16・17・18年度発掘調査地点 (①~⑨)  
※遺跡名は一覧表を参照

